罪

どのように神と人との正しい交わりを回復出来るかという喜ばしい知らせを理解する前に、まずどのようにこの関係が破壊されてしまったかを知る必要があります。
聖書は次のように言っています。

> **「すべての人は、罪を犯したので、神の栄光を受けることができない。」** **(ローマ人への手紙3章23節)**

> **「罪過の中に死んでいた私たちを.....」** **(エペソ人への手紙2章5節)**

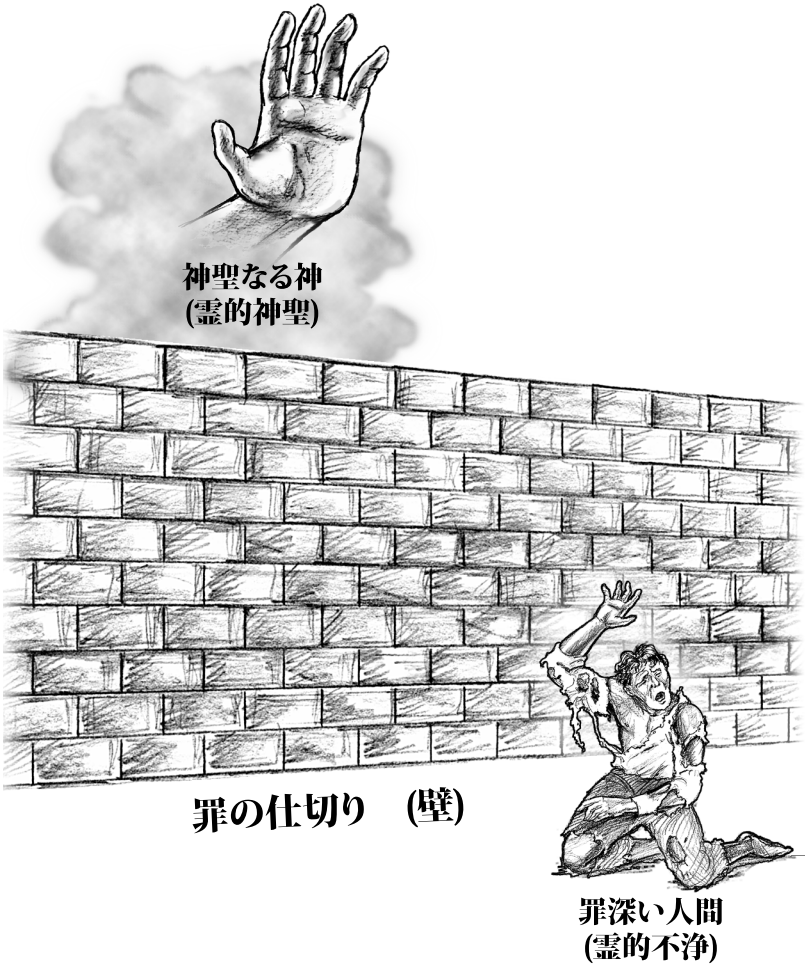
神は神聖であり、人は罪深い(霊的不浄)存在です。ちょうど私たちは、死んで腐って行く、何とも言えない悪臭のする動物の前にいられないのと同じように、神聖なる神は霊的に死んで腐っている私たちの前に立つ事ができません。人は自分の罪によってまったく死んでいるのです。

神との断絶

罪の結果であることは明らかです。

> **「あなたがたの不義が、あなたがたとあなたがたの神との仕切りとなり」** **(イザヤ書59章2節)**

罪が原因で、人と神との間に仕切りとなった。



神は神聖で終りのないお方です。つまり神は永遠に神聖です。それゆえ、どんな小さな罪でも神を傷つけ続けるのです。聖書はどんな小さな罪でも、私たちを神から永遠に引き離すと教えています。神はどのような罪をも放置することができません。